

工事完成写真編集マニュアル

1. 一般事項

- (1) 工事写真アルバムは、A4 版縦を標準とする。また、ここに定めのない事項等については、「水道工事標準仕様書【土木工事編】（日本水道協会発行 2010 年版）」によること。なお、これらによらない場合は監督員と協議する。
- (2) 写真は横撮りを基本とする。
- (3) 黒板に（工事名・工種等・測点（位置）・設計寸法・実測寸法・略図・撮影月日・立会監督員名（立会時のみ）・請負業者名）の必要事項を記入し撮影する。
- (4) 黒板の文字が確認できるように黒板の位置に配慮する。
- (5) 他の地下埋設物等との離隔は必ず撮影する。
- (6) 現場内を整理し、撮影対象物以外写真に入らないよう配慮する。

2. 工事写真の順番

見出し	細目	摘要
位置図		工事区間赤色で表示
現場事務所及び各種掲示板	<ul style="list-style-type: none"> ・現場事務所 ・建設業の許可票 ・安全衛生掲示板 ・建設業退職金共済制度適用事業主工事現場標識シール （略称：建退共現場標識シール） ・労災保険関係成立票 ・施工体系図 ・緊急連絡表 ・作業主任者 ・有資格者一覧表 ・安全衛生推進者等 ・道路（河川）占用工事許可標示 ・工事標識 ・産業廃棄物一時保管場所 	<ul style="list-style-type: none"> ・現場事務所は社旗が写ること。また、資材置き場を別に用意する場合追加する。
着工前・完成	<ul style="list-style-type: none"> ・着工前 ・完成 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事区間毎
管路土工・管路工	<ul style="list-style-type: none"> ・掘削 ・管布設 ・既設管との連絡状況 ・管洗浄・水圧テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・掘削、管布設、埋戻しは 500m 毎に 1 箇所とし、口径ごとに撮影する。 ※757mm 舗装工下層路盤工

	<ul style="list-style-type: none"> ・溶接部検査状況 ・(仕切弁設置) ・(空気弁設置) ・埋戻し ・他の埋設物との交差 	<p>の撮影頻度準用(北海道建設部土木工事共通仕様書：平成30年10月版II-354)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既設管連絡、仕切弁・空気弁設置は施工箇所毎に撮影する。 ・工事区間毎。また、管種・口径毎管理する。 ・施工状況、土被り、離れ、完了 ・埋戻しは、路床の施工は含まない。路盤工に入れる ・他の埋設物との離隔距離
路盤工	<ul style="list-style-type: none"> ・車道路床 ・車道下層路盤(20cm以下毎) ・歩道路床 ・歩道下層路盤(20cm以下毎) 	<ul style="list-style-type: none"> ・状況・完了・出来形
舗装工	<ul style="list-style-type: none"> ・車道上層路盤 ・車道舗装(表層・基層) ・歩道舗装(表層・基層) 	<ul style="list-style-type: none"> ・状況・完了・出来形
道路付属施設工	<ul style="list-style-type: none"> ・縁石工 ・区画線工 ・防護柵工 ※その他 	<ul style="list-style-type: none"> ・状況・完了・(出来形)
構造物撤去工	<ul style="list-style-type: none"> ・取壊し工 	<ul style="list-style-type: none"> ・状況・完了
建設副産物	<ul style="list-style-type: none"> ・残土処理 ・アスファルト塊運搬処理 ・コンクリート塊運搬処理 	<ul style="list-style-type: none"> ・状況・完了 ・処分場所 ・残土の検寸 ・残土敷均し
仮設工	<ul style="list-style-type: none"> ・仮設給水 ・仮復旧 ・試掘 ※その他 	<ul style="list-style-type: none"> ・状況・完了
使用材料	<ul style="list-style-type: none"> ・材料名 	<ul style="list-style-type: none"> ・各材料毎、全数

使用機械	・ 機械名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各機械毎 ・ 排出ガス基準適合車及び低騒音型に適合した機械であることが分かるように機械左面より撮影すること ・ バックホウはクレーン仕様の判断が出来るように撮影すること
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通整理員 ・ バリケード ・ 工事規制看板 	

工事に含まれる場合は提出（工事写真アルバムに追加）

給水管切替工	<ul style="list-style-type: none"> ・ 着工前 ・ (掘削) ・ 管布設完了 ・ (埋戻し) ・ 完成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全給水管切替箇所 ・ 分水栓のボール弁の開閉が確認できる写真 ・ 掘削・埋戻しは、5箇所 に1箇所の割合で管理する。なお、口径別など条件がバラけるようにする。
消火栓設置工	<ul style="list-style-type: none"> ・ 着工前 (掘削) ・ 管布設完了 ・ (埋戻し) ・ 完成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全消火栓設置箇所 ・ 掘削・埋戻しは、2箇所 に1箇所の割合で管理する。 ・ 消火栓設置を主体とした工事はこれによらない

3. 整理の方法

- ・ 工種毎に見出しを付け、工種又は区間がわかるようにする。
- ・ 「位置図」は、設計書に添付されているものを使用する。
- ・ 水替・矢板等がある場合は管路土工の中で整理する。
- ・ 「着工前・完成」の写真は必ず同じ場所・アングルから撮影する。
- ・ 「掘削」～「管布設」～「埋戻し」までは区間毎とし、施工手順に従って整理する。
- ・ 各区間の見出しには、どの区間の作業か分かるように略図を付ける。

- ・ 「管布設」の中で、仕切弁設置及び空気弁設置は各区間の最後にする。また、設置位置がわかるよう略図を付ける。
- ・ 状況写真は施工状況が良くわかるような写真を付ける。
- ・ 作業内容がわかるように挿絵を入れる。また、同じ内容の挿絵を複数枚貼ることは避け、一枚にまとめる。
- ・ 「管洗浄・水圧テスト」以降は工種毎に編集し、作業区間等がわかるようにする。
- ・ 「使用材料」の写真は、名称・寸法・口径等規格、個数がわかるようにする。また、数量も表示する。
- ・ 「使用機械」の写真は、低騒音や低排出ガス対策など環境に配慮した機械を使用していることがわかるような構図で撮影する。また、舗装復旧で使用した機械も一緒にまとめる。
- ・ 「安全訓練等」は安全訓練のほか、日々の危険予知活動の状況も撮影する。

4. その他

工事アルバムに入れなくて各提出書類のファイルに入れる写真。

- ・ 段階確認写真（協議簿に添付）
- ・ 社内検査写真
- ・ 球体落下試験写真
- ・ 安全訓練等「安全訓練、新規入場、KY活動、災害防止協議会」の写真